

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券／インデックス型
信託期間	無期限（2024年7月17日設定）
運用方針	<ul style="list-style-type: none">主として全世界（日本を含む）の債券市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）とします。市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3か月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。
主要投資対象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資します。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年4回、原則として、毎年3月、6月、9月および12月の各12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みまず）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

運用報告書（全体版）

第1作成期

第1期（決算日 2024年9月12日）

第2期（決算日 2024年12月12日）

SBI・iシェアーズ・全世界債券 インデックス・ファンド（年4回決算型） （愛称：サクッと全世界債券（分配重視型））

追加型投信／内外／債券／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI・iシェアーズ・全世界債券インデックス・ファンド（年4回決算型）（愛称：サクッと全世界債券（分配重視型））」は、2024年12月12日に第2期決算を行いました。ここに作成期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiam.co.jp/>



○設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率		
第1作成期	(設定日) 2024年7月17日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 120
	1期(2024年9月12日)	9,479	0	△ 5.2	9,448	△ 5.5	96.3	176
	2期(2024年12月12日)	10,010	0	5.6	10,060	6.5	97.1	228

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) ベンチマークはブルームバーグ・グローバル総合インデックス(米ドルヘッジ)を委託会社にて円換算しています。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率
			騰落率		騰落率	
第1期	(設定日) 2024年7月17日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —
	7月末	9,813	△ 1.9	9,813	△ 1.9	96.6
	8月末	9,491	△ 5.1	9,462	△ 5.4	97.2
	(期末) 2024年9月12日	9,479	△ 5.2	9,448	△ 5.5	96.3
第2期	(期首) 2024年9月12日	9,479	—	9,448	—	96.3
	9月末	9,469	△ 0.1	9,437	△ 0.1	96.7
	10月末	9,978	5.3	10,011	6.0	97.2
	11月末	9,869	4.1	9,908	4.9	96.7
	(期末) 2024年12月12日	10,010	5.6	10,060	6.5	97.1

(注1) 騰落率は第1期が設定日比、第2期は期首比です。

(注2) ベンチマークはブルームバーグ・グローバル総合インデックス(米ドルヘッジ)を委託会社にて円換算しています。

(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

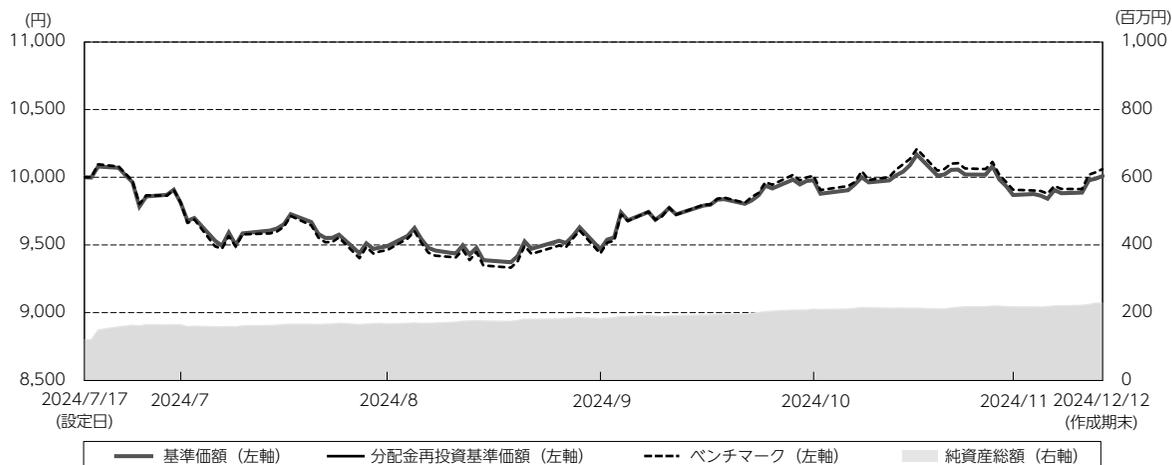
(注4) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(米ドルヘッジ)

ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(米ドルヘッジ)は、複数の本国通貨市場のグローバルな投資適格債で構成される旗艦インデックスです。この複数通貨建てのインデックスには、先進国市場および新興国市場発行体の固定利付きの国債、政府機関債、社債、証券化証券が含まれます。なお、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(米ドルヘッジ)(円換算ベース)は、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス(米ドルヘッジ)をもとに、委託会社が円換算したものです。

■ 当作成期の運用状況と今後の運用方針（2024年7月17日～2024年12月12日まで）

○ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第2期末：10,010円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：0.1%

(注1) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）を委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日（2024年7月17日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2024年7月17日）の値が基準価額と同一となるよう指数化しています。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 米国経済が軟着陸（ソフトランディング）し、想定通り金融緩和政策が続くこと
- ・ グローバルでインフレが鎮静化し、緩やかな金利低下局面となること
- ・ 日米の金利差が拡大し、円安・ドル高傾向となること

下落要因

- ・ 米消費者物価指数（CPI）の上昇など、想定以上に米国経済が強くなり長期金利が高止まりすること
- ・ 米連邦準備制度理事会（FRB）の政策金利の利下げ幅が縮小傾向となること
- ・ 日銀の金利正常化の動きが強まり、日本の金利が上昇し、円高圧力が強まること

○投資環境

<先進国債券市場>

先進国債券市場を代表する米国債券市場、特に米国10年国債利回りで見ると、期中を通じて金利は上昇しました。前期後半から米消費者物価指数（CPI）が想定以上に下振れするなど米国の経済指標は弱く、金利は低下基調が続く中、7月の期初は4.2%近辺で始まりました。8月には雇用統計が市場予想を大きく下回り、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエルFRB議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下しました。そして、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で金融緩和策により、長期金利は3.6%近辺まで低下し、債券市場は上昇しました。その後、米国経済の底堅さを示す経済指標に加え、トランプ氏の米大統領選挙での優勢が報道されると、金利は上昇基調に転じました。さらに11月上旬、トランプの勝利が確定的になると、財政拡大政策が米国経済を後押しするとともに、財政赤字が拡大するとの思惑から米国金利が上昇基調を強めました。12月に入ってもこの傾向は続き、4.3%近辺で当期を終了しました。

欧州債券市場は、弱い経済指標によりECBの利下げが影響し、長期金利は低下基調となりました。日本債券市場は、8月には0.8%近辺まで下げましたが、その後は米国金利に連動し、期を通してほぼ横ばいでした。

<外国為替市場>

当期、米ドル円相場は期を通じてほぼ横ばいとなりました。7月月初に160円を超えると、政府は再び為替介入を実施したことにより、期初は155円近辺のやや円高水準で始まりました。その後、8月には雇用統計が予想以上に悪化したことで、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエルFRB議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下し、円高局面となりました。9月中旬には140円を割り込む水準まで円高が進みました。ただ、10月以降は堅調な米国の経済指標から追加の大幅な利下げ観測が後退する中で、米長期金利が上昇に転じる一方、日本の長期金利は日銀の慎重姿勢もあり緩やかな上昇にとどまったことで、再び日米金利差に着目したドル買いが優勢となりました。さらに11月上旬、トランプ氏の勝利が確定的になると、財政拡大政策が米国経済を後押しするとともに、財政赤字が拡大するとの思惑から米国金利が上昇基調を強め、152円近辺で期を終えました。

○当ファンドのポートフォリオ

ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）に連動する投資成果を目標とし、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

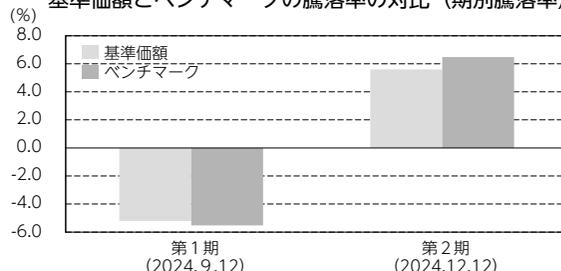
作成期中における基準価額は、+0.1%の上昇となり、ベンチマークである「ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）（円換算ベース）」の騰落率である+0.6%を概ね0.5%下回りましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

（マイナス要因がプラス要因を上回りました。）

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（米ドルヘッジ）を委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当作成期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期	第2期
	2024年7月17日～ 2024年9月12日	2024年9月13日～ 2024年12月12日
当期分配金	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	28	140

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、全世界（日本を含む）の債券へ実質的に投資し、全世界（日本を含む）債券市場の値動きと同等の投資成果を目指します。当ファンドの運用にあたっては、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 7 月17日～2024年12月12日)

項 目	第 1 期～第 2 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 3 (1) (1) (1)	% 0.026 (0.010) (0.010) (0.006)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	5 (5)	0.053 (0.053)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	8	0.080	
期中の平均基準価額は、9,724円です。			

(注 1) 作成期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

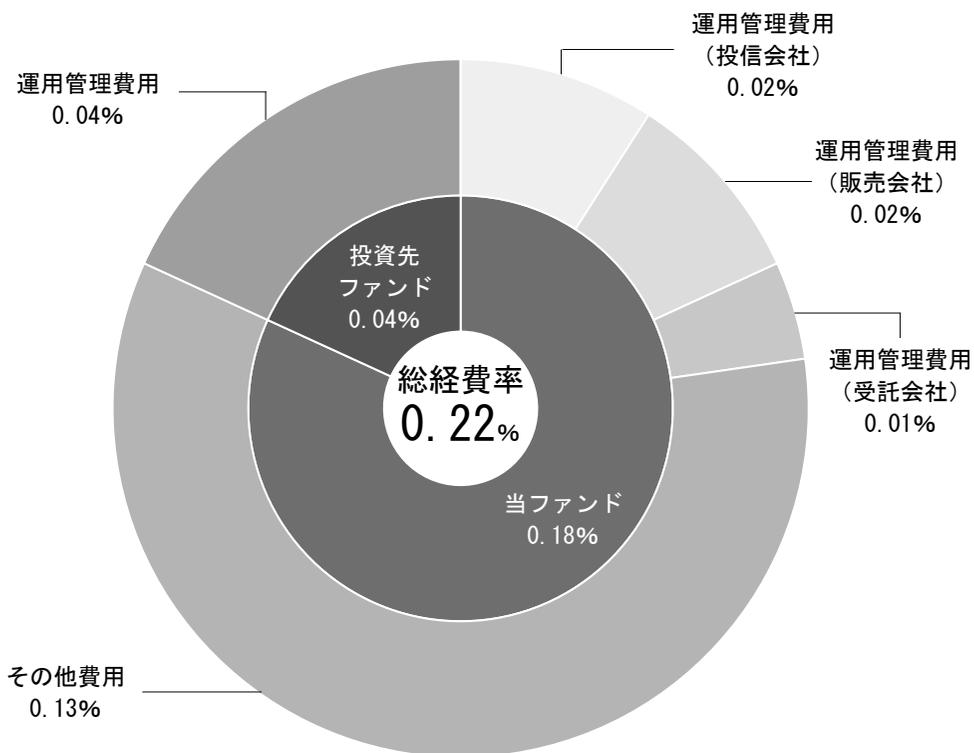
(注 4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く。) が支払った費用を含みません。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）**は**0.22%**です。



総経費率 (①+②)	0.22%
①当ファンドの費用の比率	0.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月17日～2024年12月12日)

投資信託証券

銘柄			第1期～第2期			
			買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	口	千ドル	口	千ドル
		ISHARES CORE INTERNATIONAL AGGREGATE BOND ETF	8,745	864	—	—
			11,312	574	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月17日～2024年12月12日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年12月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄名		第1作成期末			
		口数	評価額		比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%	
ISHARES CORE U. S. AGGREGATE BOND ETF	8,745	863	131,527	57.6	
ISHARES CORE INTERNATIONAL AGGREGATE BOND ETF	11,312	592	90,369	39.6	
合計	口数・金額	20,057	1,456	221,897	97.1
	銘柄数<比率>	2	—	<97.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年12月12日現在)

項 目	第1作成期末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 221,897	% 96.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	8,740	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	230,637	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建て純資産(222,123千円)の投資信託財産総額(230,637千円)に対する比率は96.3%です。

(注3) 外貨建て資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、12月12日における円換算レートは、1ドル=152.40円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第 1 期末	第 2 期末
	2024年 9 月12日現在	2024年12月12日現在
	円	円
(A) 資産	177,507,521	230,637,965
コール・ローン等	7,122,314	8,740,631
投資信託受益証券(評価額)	170,385,187	221,897,309
未収利息	20	25
(B) 負債	571,957	2,215,797
未払解約金	555,757	2,183,752
未払信託報酬	16,200	32,045
(C) 純資産総額(A－B)	176,935,564	228,422,168
元本	186,662,831	228,196,841
次期繰越損益金	△ 9,727,267	225,327
(D) 受益権総口数	186,662,831口	228,196,841口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,479円	10,010円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

作成期首元本額

120,318,979円

第1～2期中追加設定元本額

171,500,764円

第1～2期中一部解約元本額

63,622,902円

○損益の状況

項 目	第1期	第2期
	2024年7月17日～2024年9月12日	2024年9月13日～2024年12月12日
	円	円
(A) 配当等収益	486,707	940,222
受取配当金	515,455	1,017,049
受取利息	△ 41,738	△ 76,827
支払利息	12,990	—
(B) 有価証券売買損益	△ 8,320,109	8,619,942
売買益	4,676,349	11,945,529
売買損	△12,996,458	△ 3,325,587
(C) 信託報酬等	△ 38,056	△ 110,009
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 7,871,458	9,450,155
(E) 前期繰越損益金	—	△ 6,676,042
(F) 追加信託差損益金	△ 1,855,809	△ 2,548,786
(配当等相当額)	(74,668)	(426,335)
(売買損益相当額)	(△ 1,930,477)	(△ 2,975,121)
(G) 計(D+E+F)	△ 9,727,267	225,327
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 9,727,267	225,327
追加信託差損益金	△ 1,855,809	△ 2,548,786
(配当等相当額)	(74,668)	(426,335)
(売買損益相当額)	(△ 1,930,477)	(△ 2,975,121)
分配準備積立金	448,651	2,774,113
繰越損益金	△ 8,320,109	—

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第1期計算期間末における費用控除後の配当等収益(448,651円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(74,668円)より分配対象収益は523,319円(10,000口当たり28円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注5) 第2期計算期間末における費用控除後の配当等収益(929,408円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,464,189円)、信託約款に規定する収益調整金(426,335円)および分配準備積立金(380,516円)より分配対象収益は3,200,448円(10,000口当たり140円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF	米国の債券	Bloomberg US Aggregate Bond Index (USD Hedged)	0.03%	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ

組入上位発行体	比率
UNITED STATES TREASURY	44.0%
FEDERAL NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION	11.3%
GOVERNMENT NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION II	6.1%
FEDERAL HOME LOAN MORTGAGE CORPORATION	5.6%
UNIFORM MBS	1.7%
BANK OF AMERICA CORP	0.6%
JPMORGAN CHASE & CO	0.6%
MORGAN STANLEY	0.4%
GOVERNMENT NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION I	0.4%
WELLS FARGO & COMPANY	0.4%

出所：ブラックロック・ファンド・アドバイザーズのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2024年9月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ・コア 世界総合債券市場 ETF	米国以外の債券	Bloomberg Barclays Global Aggregate ex USD 10% Issuer Capped (Hedged) Index	0.07%	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ

組入上位10銘柄	比率
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	1.1%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.7%
BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	0.6%
CHINA DEVELOPMENT BANK	0.5%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.5%
CHINA DEVELOPMENT BANK	0.4%
ITALY (REPUBLIC OF) RegS	0.4%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.4%
CHINA PEOPLES REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	0.4%
CHINA DEVELOPMENT BANK	0.3%

出所：ブラックロック・ファンド・アドバイザーズのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2024年9月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第2期期末時点のものであり、将来変更される場合があります。